

「ぐんま」で輝く看護職

私たちの身近で、医療や人々の健康を支えている看護職。その担い手は、誰もが安心して暮らすために欠かせない存在です。

県では、地域で活躍する看護職を支援するために、働きやすい職場づくりやスキルアップのサポート、修学資金の貸与や復職支援など、さまざまな取り組みを進めています。

看護職を目指す学生や現場で働く職員は、どのような思いで群馬県で学び・働いているのか。「リアル」な声を紹介します。



大学生

患者さんに寄り添う力を育む4年間

県立大学で学び、来春には県内の医療機関へ就職する小山さん。実習や専門分野の学習を通じて、看護師として必要な知識と技術を身に付けています。



県立県民健康科学大学
看護学部4年生
こやま あみり
小山 亜実莉さん

実習で感じた、看護職のやりがい

大学の实習では、患者さんに関わる中で看護職の奥深さを実感しました。先生方のきめ細かな指導も成長の支えです。

看護職を未来の選択肢の一つに

群馬で育ったからこそ、地域の話で患者さんとの会話が弾みます。温かなつながりを感じながら働けることも、群馬で看護師を目指す魅力の一つだと思っています。誰かの力になりたい中学生・高校生の皆さんに看護職を目指してもらえたらうれしいです。

県の取り組み

☑ 看護職の魅力を伝える取り組み

県では、毎年5月12日の「看護の日」関連事業として、県看護協会と共に、病院での「ふれあい看護体験」や学校での出前授業を実施しています。看護職の魅力や大切さを伝え、多くの人に看護職を目指してもらえるよう取り組んでいます。

☑ 修学資金貸与

県内の専門学校や養成所の看護学生に修学資金を貸与しています。卒業後、県の指定する医療機関で一定期間働くと返還が免除されます。

☑ 奨学金返還支援

県内の看護大学を卒業後、県の指定する医療機関で働くと、学生時代に借りた奨学金の返還支援が受けられます。(9年度募集開始予定)

県の取り組み

専門学校生

4人の子どもを育てながら踏み出した一歩

子育てをしながら、専門学校に通う矢内さん。出産を経て「命の誕生に関わりたい」と看護の道へ進むことを決意しました。



伊勢崎敬愛看護学院 2年生
やない あみ
矢内 亜美さん

「ママ」も「学生」も全力で

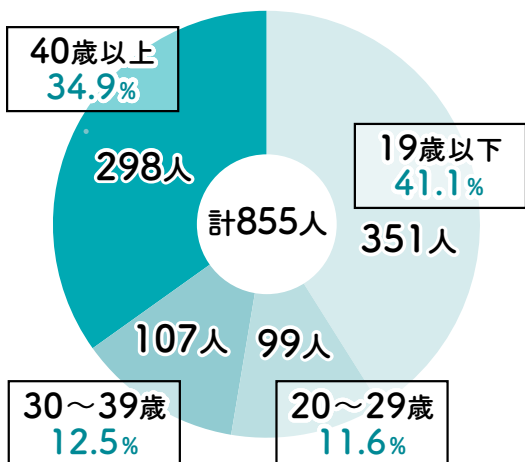
朝は子どもたちを送り出してから登校し、放課後は保育所などへの迎えや家事、夜は勉強に追われる日々。そんな忙しい毎日でも、前向きに「ママ」と「学生」を両立しています。

仲間と支え合いながら、前へ

支えは家族と、共に学ぶ仲間の存在。育児との両立は大変なこともあります。励まし合いながら学ぶ中で、夢に近付いているという手応えを感じています。学生には幅広い年代の人がいて、みんながいるからこそ頑張れます。

専門学校などでは
さまざまな年代の人が学んでいます

看護師等養成所※入学状況(年齢別)
※養成所3年課程、2年課程、准看護師養成所



「令和8年度看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」(厚生労働省)を元に群馬県作成
※端数処理の関係で合計と一致しない場合があります

現役看護師

「地域の人の役に立ちたい」

群馬で生まれ育ち、県内の大学で学び、県内の病院に就職した高橋さん。地域の人たちの身近な存在として、患者さんに寄り添います。

患者さんの「ありがとう」が原点に

中学生・高校生時代の職場体験で、患者さんの髪を乾かす手伝いをしたときに「ありがとう」と言ってもらえたことが心に残り、進路を決めました。地域の人たちに見守られながら育ったため、地域に恩返しをしたいと思ったことも、地元で看護師になると決めたきっかけの一つです。

地元で働くことの魅力

現在の職場を選んだ決め手は、インターンシップで感じた温かな雰囲気です。職員同士が困ったときに支え合える環境があり、安心して働けます。

患者さんとの距離も近く、地域とのつながりを感じながら働くことに魅力を感じています。



公立富岡総合病院
看護師
高橋 梨奈さん

看護職の活躍の場



県の取り組み

☑ 院内保育所運営費補助

医療機関に対し、院内保育所を運営する際の支援を行っています。
子育てする人も働きやすい環境づくりを後押ししています。

県ナースセンターについて

看護職・看護補助者として就職先を探している人や求人の希望がある施設を対象に、無料で相談・研修を行っています。転職や職場の悩みを抱えている人も含め、それぞれのキャリアに寄り添った支援をしています。

"ちょっと相談"してみませんか

相談員は全員が看護職の経験者です。一人一人の状況を丁寧に伺いながら、相談に応じています。来所や電話のほか、ハローワークでの巡回相談も受け付けています。

「しばらく現場を離れていたので不安」「子育てとの両立が心配」など、ナースセンターにはさまざまな相談が寄せられています。「転職を迷っている」という段階でも大丈夫です。まずは"ちょっと相談"してみませんか。

相談専用ダイヤル



027-269-5202

復職した看護師の"リアル"な声

出産と子育てのため、数年間現場を離れていました。復職にあたって不安もあったので、ナースセンターに相談しました。相談しやすい雰囲気で、親身に話を聞いてもらえました。

また復職支援の研修にも参加し、採血や吸引などの看護技術を学び直したことも、復職に向けた自信へつながりました。



現在は、子育てと両立しやすいことを重視し、勤務時間や通勤距離などの条件が合う社会福祉施設で働いています。利用者さんとのコミュニケーションを大切にしながら、無理のないペースで仕事を続けられています。

ぐんま看護職ポータルサイトのご案内

群馬で働きたいあなたへ
看護を目指す「すべての人」へ
群馬で見つける
"はじめての一步"
"次の一步"



掲載内容

- ・県内全126病院の施設情報、勤務体制、奨学金情報など
- ・県内の看護大学、看護師等養成所の情報
- ・現役看護職や看護学生のインタビュー
- ・看護職を目指す人、現役看護職、復職希望者への支援に関する情報